

# 日 ASEAN 経済共創ビジョン 概要

## 日 ASEAN 経済共創ビジョンとは？

- 日 ASEAN 経済共創ビジョンは、日 ASEAN 50 周年を機に、これまでの日 ASEAN の信頼の絆を次世代へ継承し、これからの 50 年間を見据え、新しい世代の経済関係を再構築することを目的とする。日 ASEAN が新たな経済的・社会的価値を共に創る（共創する）ために、日 ASEAN の声に基づき戦略目標と方向性、取り組む内容を示し、両者の経済関係を再構築するものである。
- 本ビジョンは「過去 50 年間の友好協力を中で培った”信頼“を原動力として、安全で豊かで自由な経済社会を、公正で互恵的な経済共創を通じて実現する」ことを目指す。「共創」とは、社会課題解決等の経験を共有し、ASEAN 諸国の多様性を尊重し、人材の双方向の交流を進める中で培われる信頼に基づき、双方向的に価値を提供する経済関係である。このビジョンを実現するために、日本と ASEAN は協力して、アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）構想等の実現に向けたサステナビリティに関する取組、オープン・イノベーションの促進、社会基盤とコネクティビティの強化、グローバルやリージョナルな課題解決を進める。こうした取組を通じて、日 ASEAN の双方向の人的交流を拡大する。

## 日 ASEAN 経済共創ビジョンの必要性

- ASEAN は、これまでの世界のサプライチェーンの要衝のみならず、社会課題を解決するスタートアップを数多く輩出するイノベーション拠点になりつつあり、豊かな中間層の拡大も進み、名実ともに世界経済の成長の中心（Epicentrum of Growth）になりつつある。
- 一方で、世界情勢は、エネルギー安全保障、経済安全保障や食料安全保障の課題が世界の経済成長の阻害要因となり、気候変動等の地球規模の課題や急激な経済成長と都市化に伴う経済格差の広がり等の社会課題への対応の必要性が顕在化してきており、人類共通の課題や地球規模課題への対応として、経済的価値と社会的価値の両立が課題となってきている。
- 日本は、この変化を受け、かつての ASEAN の経済成長に貢献する立場ではなく、ASEAN と共に成長するパートナーとして一緒に世界の「安定と繁栄の基盤」となるべく「安全で、豊かで、自由な」社会を築く新たな経済関係モデルを構築し、世界に示していく必要がある。

## 日 ASEAN 経済共創ビジョン実現に向けた 4 つの取り組みの柱

- 日 ASEAN が「安定と繁栄の基盤」となり「安全で、豊かで、自由な」社会を築く新たな経済関係モデルとなるため、日 ASEAN 経済共創実現に向け、4 つの柱を掲げ一体的に進める。
- 「多様性・包摂性を両立するサステナビリティ」：「安全で、豊かで、自由な」誰も取り残さない社会の実現に向けて、気候変動といった地球規模の課題、更には、国家間や都市・地方間の格差等の都市の課題への対応が必要である。そこで、各国の個別事情に向き合い、多様かつ現実的なアプローチを模索する形で、カーボンニュートラル実現に向けたエネルギーtransition等の気候変動の緩和や適応に向けた取組、サーキュラーエコノミーの実現、レジリエンス強化や生活水準（ウェルビーイング）向上に向けた取組を実施する。

- 「**国境を越えたオープン・イノベーション**」: サステナビリティの実現に向けて、日 ASEAN 双方の企業や大学が、複層的に協力し合い、技術とビジネスモデルの革新を促進することが必要である。そこで、日 ASEAN の共創による革新を促進するための環境・仕組みの整備に向けた取組みを実施する。
- 「**サイバー・フィジカルコネクティビティ**」: オープン・イノベーションの推進に向けて、これまでの経済成長を牽引した産業基盤をフィジカルなハードインフラのみならず、サイバー空間を支えるインフラや制度を整備し革新することが必要である。そこで、これまでの産業を新たな産業連携基盤として機能させるべく、国境を越えたデータ連携の推進等の取組みを実施する。
- 「**活力ある人的資本を共創するためのエコシステム**」: 日 ASEAN の共創機会の促進に向けて、日 ASEAN 大でイノベーションや産業変革を牽引する人材である Globalized Asian を生み出すことが必要である。そこで、技術に精通し、民主的価値に共感し、文化的にハイブリッドな人材が ASEAN 大で活躍し還流する社会の実現に向けて、高度人材のブレイン・サーキュレーションの促進と日 ASEAN での人材交流/育成機会を最大化する取組みを実施する。

### 日 ASEAN 経済共創ビジョン実現に向けたアプローチ

- 日 ASEAN 経済共創ビジョン実現に資する 4 つ取り組みの柱の一体的な推進に向けて、日 ASEAN の企業が経済的価値/社会的価値を創造し、その実現を日 ASEAN 各国の政府機関・経済関連機関や ASEAN の経済関連機関が密に連携して推進していく。
- ビジョンの実現に向けて、日本と ASEAN の絆を活かしながら、未来を担う産業の創造とその発展の基盤を、日 ASEAN で共創していく。デジタル技術を活用したサプライチェーン高度化、起業家育成と起業家ネットワーク構築、社会課題解決ビジネス共創推進、アジア・ゼロエミッション共同体 (AZEC) 構想の実現に向けた取組等を含め、さらに多くのプロジェクトを実現・推進することにより、これまで培ってきた日 ASEAN の信頼を拡大していく。
- さらに、ビジョン実現に向けて、デジタルイノベーション・サステナブルエコノミーセンター創設等により共創拠点化する ERIA を活用しながら、具体的なプロジェクトを日 ASEAN/官民共同で実装し、成功事例を積み上げ、ビジネス環境整備を図りながら、普及・拡大させていくことが必要である。具体的には、共創拠点としての以下の 3 つの機能を拡充しながら各取組みを実施し、その実施状況を定期的にフォローアップすることで、信頼の維持・拡大を図る。
  - 多様な課題解決を図りつつ、サステナブルな未来を共創する拠点としての機能強化を通じ、ASEAN における AZEC と Well-being の実現に貢献する取組みを実施。
  - オープン・イノベーション促進に向けて経験・ノウハウ、若い活力等が結集する共創拠点としての機能を強化し、共創を促進する環境整備と人材育成機会最大化の取組みを実施。
  - コネクティビティを強化する社会基盤やスタンダードを共創する拠点としての機能を強化し、社会基盤の整備支援と社会基盤の革新に向けた取組みを実施。

以上